



おいしい！楽しい！が盛りだくさん しらたかの秋、3日間で大満喫

9月21日～23日の3日間、しらたかの秋恒例の「白鷹鮎まつり」、「しらたか工芸体験まつり」、「うんまえもの茶屋」が今年も町内各会場で開催されました。

白鷹ヤナ公園あゆ茶屋を会場に開催された鮎まつりは今年で43回目。まつりのメインであるアユの塩焼きをはじめ、食欲をそそる香りが会場全体を包み、来場者はしらたかの秋の味覚を存分に堪能しました。台風の影響により、残念ながら3日目は中止となってしまいましたが、2日間で約1万8千人が来場。約6500本のアユの塩焼きが来場者のおなかを満たしました。

また、深山地区のどか村で22日～23日に開催されたしらたか工芸体験まつりには、家族連れなど約4千100人が来場。来陶芸体験や和紙漉（す）き、子どもたちに大人気の川魚のつかみ取りなどが行われました。来場者数は年々増加傾向にあり、深山地区ならではのおもてなしに訪れた人たちは魅了されました。

さらに、うんまえもの茶屋は、今年もどおりいむ農園直売所としらたか産直愛菜館の2会場で開催。しらたかの秋の味覚を味わおうと、遠方からも続々と来場しました。

台風の影響により、鮎まつりにおいては3日目が中止となるアクシデントもありましたが、しらたか工芸体験まつりやうんまえもの茶屋は予定通り開催。例年に増して盛況となり、しらたかの秋を満喫できた3日間となりました。



1. おいしそうに焼きあがった鮎 / 2. 陶芸に挑戦中の女の子 / 3. 鮎にかぶりつく男子 / 4. ニジマスを捕まえた女の子



長年の功績をたたえて 白鷹ライオンズクラブが厚生労働大臣表彰を受賞

7月31日、献血運動推進協力団体等厚生労働大臣表彰伝達式が山形県庁で行われ、白鷹ライオンズクラブが表彰されました。

白鷹ライオンズクラブは、献血の重要性を理解し、町と協力して年2回の献血活動を行っています。ポスターを掲示しながら、会員の事業所のほか、家族や知人にまで広く献血協力の要請を行ったり、より多くの方に献血をしていただくために献血会場において記念品の配布を行うなど、組織を挙げて献血推進事業に取り組んでいます。長年にわたるこれらの功績が認められ、このたびの受賞となりました。



吉村美栄子知事より賞状が授与されました



全国大会出場の栄光をたたえて 令和元年度成績優秀者激励金交付

文化・スポーツ活動において優秀な成績を収め全国大会への出場を果たされた方々に、町より激励金を交付しています。9月に交付させていただいた成績優秀者は下記の1名です。

氏名 (出場時の所属)	大会名等
紺野 稜真 (白鷹中3年)	・第74回国民体育大会陸上競技 ・第50回ジュニアオリンピック陸上競技大会



激励金を受け取る紺野稜真くん



食から見つめるこれからの暮らし 白鷹学講座2019「しらたか自炊塾」を開催

8月30日、白鷹町産業センターにて、白鷹学講座2019「しらたか自炊塾」が開催され、約130名の方が来場されました。

講師に九州大学準教授の比良松道一氏をお招きし、食の大切さについて講演いただきました。5月から4回、荒砥高校で行なった講義の様子や感想などを交えながら「自炊をすれば優しい人になる」「してほしいことは、して見せる」「料理に挑戦することは、何歳になっても遅くない」と、お話くださった比良松先生。日々の忙しい生活の中で、食が親子のつながり、地域の絆を深める大切なことであると改めて感じた講演でした。



「自炊をすれば優しい人になる」と語る比良松先生



いつでもみんなを温かく見守っているよ—— 白鷹町更生保護女性会会員が白鷹中学校であいさつ運動

次世代を担う子どもたちの健全育成を願い、町更生保護女性会(梅津ツヤ子会長)が町内の全小中学校を訪問し、朝のあいさつ運動と手作りしおりの配布、雑巾の寄付を行いました。

9月27日には、同会員15名が白鷹中学校を訪問。登校してくる生徒たち一人ひとりに「今日も一日頑張ってくださいね」などと声をかけると、生徒たちは「ありがとうございます」と笑顔で返していました。梅津会長は「地域のみなが見守っているよという思いが、少しでも生徒の心に届いてくれたらうれしい」と話し、元気に登校する生徒たちをやさしく見つめました。



笑顔で生徒たちとあいさつを交わす会員の皆さん



身近な環境を意識する しらたか環境フェアを開催

9月28日、あゆーむにて「しらたか環境フェア」が開催され、約200名の方にご来場いただきました。

環境への意識付けや、より良い環境をつくるためのきっかけづくりとして企画された当イベントは今年で2回目。当日は使用済小型家電と古着等の回収や壊れたおもちゃを直すおもちゃ病院、使用済みロウソクを再利用するエコキャンドルづくり、マイ箸づくり、トンボの生育環境を考えるパネル展などが行われました。

エコキャンドルづくりでは地球温暖化についての講話もあり、参加者は熱心に耳を傾け、大人も子どもも環境への意識を共有しました。



溶かしたロウを慎重にガラス瓶に流し入れます